

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：ピュアリー宮前平保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：矢部 かおり	定員（利用人数）： 34（32）名
所在地：川崎市宮前区馬絹1-28-12 フィールドフォンD-1階	
TEL：044-852-0007	ホームページ：https://www.purely-hoiku.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 フェイスフルラバース	
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 2名
専門職員	保育士(園長) 1名 管理栄養士 1名
	保育士(主任) 1名 調理員 1名
	保育士 5名
施設・設備 の概要	乳児室 2室 事務室 1室
	幼児室 1室 職員休憩室 1室
	沐浴室 1室 建物延床面積 119.5㎡
	トイレ 2室 園庭 141.7㎡
	調理室 1室

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

- ・一人ひとり丁寧に関わり、生きる力の基礎となる保育を目指す。
- ・子どもたちが安心して過ごせる、家庭的な保育を目指す。

## 【基本方針】

- ・一人ひとりの個性を尊重し、基本的な生活習慣を支援する保育園。
- ・徳育、体育、知育の調和のとれた環境の中で「生きる力」を育てる。
- ・自分で考えて行動する力。
- ・葛藤を経ながらも失敗や困難に立ち向かおうとする力。

## ④ 施設・事業所の特徴的な取組

## 【立地及び施設の概要】

ピュアリー宮前平保育園は東急田園都市線宮前平駅から徒歩7分のところに立地し、現在、1～5歳児の32名が在籍しています（定員34名）。

周囲は緑や畑も残る、静かな住宅街です。鉄筋コンクリート造3階建ての1階部分が保育園で、上階は住宅になっており、2階の一室には設置法人の事務所があります。保育園の入り口は交通量の少ない道路に面していますが、反対側には比較的広い園庭があり、外からの視線を気にすることなく戸外遊びを楽しんでいます。

## 【園の特徴】

保育目標

- ① 心身ともにたくましく元気な子ども

② 友だちと仲良く遊び、思いやりのある子ども  
 ③ 想像力豊かで、物事をよく考え行動できる子ども  
 職員は「良き保育者」であるべく行動規範を持っています。  
 ① 子どもを一人の人間・人格者として認められる人  
 ② 子どもの立場・視点になって物事を考え、共感できる人  
 ③ 子どもの自尊心を傷つけたり、見下したりしない人  
 ④ 子どもと共に成長しようとする前向きな人  
 ⑤ 大人のものさしで善悪の判断をしない人  
 ⑥ 明るく優しい心のおおらかな人  
 ⑦ 子どもの心をよく理解し、子どもの言葉に耳を傾ける人  
 全職員が全園児を見守り、子ども一人ひとりの個性を尊重して保育しています。天気の良い日には園庭や公園に出かけて体を動かし、室内ではクッキング・飼育・専任講師による英語やリトミックも取り入れています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月12日（契約日） ～ 2021年 3月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

**1. 全園児と全保護者を全職員で見守る姿勢**  
 小規模園のため、全職員が園全体の子どもや保護者の様子を把握しています。各クラスの週間指導計画は引継ノートファイルに入れて全職員が見られるようになっていきます。職員は担当クラス以外の保護者にも積極的に声かけし、保護者が、前の担任にも相談できる環境ができています。保育参観や夏まつりなどの行事には、例年はほぼすべての保護者が参加しています。今年度はコロナ対応のため、運動会や夏まつりに保護者は参加せず、行事を撮影したビデオを回覧しました。行事は保護者と職員が子どもの成長を喜び、共有する機会ととらえています。

**2. おいしく楽しい食事の工夫と食育の取り組み**  
 給食摂取状況表には一つ一つのメニューについて、子どもの反応や職員の感想を細かく記録し、保育士と栄養士とが意見交換しています。行事や誕生日には特別メニューで、子どもたちが行事を楽しめる工夫をしています。  
 年間食育計画を作成し、年齢に応じた食育を行っています。栄養士が栄養の三色パネルに当日の昼食の食材模型を貼り、幼児の当番が発表しています。例年は、年度末に5歳児と栄養士と一緒にカレーを調理し、保護者を招いたカレーパーティーを開催しています。また、卒園前の5歳児には、もう一度食べたい給食のメニューを聞き、栄養士が3月の給食に反映しています。食の楽しさを伝えるため、様々な取り組みをしています。

**3. 保育の質の向上にむけた取り組み**  
 毎月の事例検討会では活動内容や保育士の関わりについて、良い点、改善点やその理由など意見を出し合っています。職員の中には、子どもの利益を第一に、向上するための注意や話し合いを積極的にしていこうという雰囲気が出ています。  
 「主体的な保育」の実現に向けて研修を重ねています。園長が事前に準備した資料や、事前に渡した職員アンケートを基に話し合いをしています。子どもたちが自分で

考えて行動できる主体性を大事にすることで、子どもの姿も少しずつ変わってきています。

◇改善を求められる点

### 1. 子どもが落ち着いて過ごすことのできる環境への工夫

2歳児室と幼児室は低い家具や仕切りで隔てられているだけで、クラス間の壁がありません。オムツ替えやままごと等では、マットや手作りの衝立で仕切っていますが、子どもが1人になりたいときのために、職員からは見えるけれど友だちの視線をさえぎりプライバシーを確保できるような場所の工夫が期待されます。

### 2. 中・長期計画と単年度計画との連同を

職員のキャリアアップ・安定的な職員確保・組織の見直しなどを中・長期計画として法人が策定しています。単年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映し計画を着実に実行する内容であることが必要です。園では、年度末に職員会議で園の課題や、改善策について話し合っただけで事業計画を策定していますが、中・長期計画と連動したものになっていません。園の振り返りから導き出された課題や、地域のニーズに対応する園独自の課題についても、中・長期計画に加えることが期待されます。

### 3. さらなる地域との交流・連携を

子どもが地域との交流を広げ、社会体験を積むとともに、自分たちの育つ地域を知るために、地域の行事や活動に参加することが期待されます。

また、地域における福祉向上や災害時の互いの助け合いのために、地域とのかかわりを深めることが期待されます。

## ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めての第三者評価が新型コロナウイルス感染禍であり、緊張と不安でいっぱいでしたが、園観察や聞き取り等、十分な配慮をして頂き、無事に終えることが出来ました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、思うような保育や活動は難しかったのですが、今までの保育内容を踏まえて評価を頂けたと感じます。

自己評価をする際、全職員で保育内容を見直し、取り組んでいる事や工夫している事を確認したり、改善すべき事等を話し合ったりしました。当園の良いところや足りない事等も気づく事が出来ました。同じ意識を持って保育することの大切さに気づき、今後も子どもにとって何が大切であるかを考えながら、保育の質の更なる向上を目指します。また、保育所として取り組まなくてはいけない事等を把握できる機会となりました。

評価結果を真摯に受け止めながら、園設備として難しい所もありますが、全職員で協力し、一つ一つ改善していきたいと思えます。

アンケートなど、ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

## ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり